

衛星通信車（ワゴンタイプ）

設営スペース

設営人員

設営時間

必要資格

3.5×5m

2人

30分

普通自動車免許

機械の機能

衛星通信車は、有線や地上波無線による通信手段が確保できない災害現場等に設置し、衛星通信を利用して現地との情報共有（映像、電話、電子メールなどの送受信）を行うための災害対策車両です。

車両には、衛星通信装置のほか、発電機やカメラなどを搭載しています。



現地設営条件

- ◎ 幅2m以上の砂利等で整地された進入路が必要です。
- ◎ 設営スペースとして幅3.5m×長さ5m程度が必要です。
- ◎ アンテナを設置するため、車体の直上部には障害物がない場所が必要です。
- ◎ 通信可能状態までには、作業員2名で30分程度の時間が必要です。
- ◎ 本車両の設営に補助機械等は必要ありません。
- ◎ 車両の運転には「普通自動車免許」が必要です。
- ◎ 通信を行う場合、免許等は不要です。
- ◎ 1給油当たりの連続運転時間は約26時間です。
- ◎ 南側、仰角40度以上が見通せる場所が必要です。

機械の諸元

主要諸元	主要機能	主要装備品
乗車定員 3名	衛星通信装置	32kbps～2,048kbpsのIP伝送 (準動画、音声、FAX、電子メール等)
車両寸法 全長4,775mm×全幅1,695mm×全高2,489mm	情報収集装置	カメラ、マイク、電話機、FAX
車両総重量 3,375kg	映像モニタ装置	9inchカラーモニタ2台、BD、DVD、HDDレコーダ
駆動方式 総輪駆動	発動発電機	単相100V 60Hz 6kVA 軽油（タンクは車体と共用）
燃料 車両本体：軽油 70L	その他	車体安定ジャッキ

車両外形図

